

第 8 回教育委員会会議録

日 時	平成 27 年 7 月 28 日 開会 15 : 00～閉会 17 : 00
会 場	教育長室
出 席 者	山 田 律 子 委員長 佐々木 義 朗 委員 阿 部 弓 枝 委員 宮 崎 肇 教育長
参 与	島 倉 弘 行 教育部長 澤 田 徹 教育部次長 西 野 典 男 教育部次長 (学校指導担当) 荒 川 裕 昭 企画総務課長 渡 邊 誠 司 学校教育課長 竹 内 浩 二 生涯学習課長 村 井 安 之 文化施設課文化施設係長
書 記	堀田 企画総務課総務係長
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

議題及び会議の概要

委員長	<p>ただ今から、平成 27 年第 8 回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>明石委員から本日の会議を欠席する旨の連絡がありましたのでお知らせいたします。</p> <p>会議録の承認をお願いいたします。</p>
総務係長	<p>前回、6 月 26 日に開催されました第 7 回教育委員会会議は議案が 2 件、議案第 1 号千歳市社会教育委員の委嘱について、議案第 2 号千歳市公民館運営審議会委員の委嘱について以上 2 件の議案は全て原案通り議決しております。</p> <p>また、報告が 1 件、報告第 1 号平成 27 年度標準学力検査・知能検査の分析についてでございました。</p>
委員長	<p>会議録承認の件よろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
委員長	<p>教育長から報告をお願いいたします。</p>
教育長	<p>7 月定例校長会の内容ですが、1 点目は体罰の防止ということで、本年 5 月から 6 月にかけて石狩管内の同一市町村の小中学校で 3 件の体罰が連続して発生したことを受け、石狩教育局では管内すべての学校において、体罰根絶に向けた職場研修を 7 月末までに実施することとしました。各学校での実施を指示いたしました。</p> <p>2 点目は、命を大切にす教育の一層の充実ということで、過日、札幌市厚別区において、高校生が父親を殺害した疑いで逮捕されるという事故が発生しました。各学校においては命を大切にす教育の一層の充実を図るようお願いしました。</p> <p>3 点目は、夏季休業中における各種講習会・研修会の実施について、夏季休業中に普通救命講習、アレルギー対応講習、ICT 機器導入後研修、ハイパー Q U 研修会、転入教職員研修を実施するので、対象者は必ず参加するようお願いいたしました。</p> <p>4 点目は、感染症対策の徹底についてということで、6 月下旬に青葉中学校で発生した集団腹痛は千歳保健所の見解は「病原体は特定できなかったが、消化器症状や短期間に有症者が続発していることなどから感染性胃腸炎の疑い」となったことを受け、各学校においては児童生徒に対し手洗い、うがいの励行の指導を徹底するようお願いしました。</p> <p>5 点目は、病気休暇の承認等にかかる事務処理の適正化についてであります。所属職員の病気休暇は学校長が承認することとなっているが、承認にあたり制度を正しく理解していない事例が見受けられるため、制度の再確認や関係</p>

	<p>書類の確認を行うなど適正な事務処理に努めるよう指示いたしました。</p> <p>6点目は、児童生徒の安全確保についてですが、児童生徒に対する自転車の交通ルール等の指導の徹底、通学路等における要注意箇所の周知徹底、見守り隊との連携強化、施錠の徹底、不審者対応マニュアルの再確認についてお願いしました。</p> <p>私からは以上であります。</p>
<p>委員長</p>	<p>教育長からの報告についてご質問やご意見等ございませんか。</p> <p>それでは、報告第1号青葉中学校の集団腹痛の発生についてと報告第2号千歳中学校の集団腹痛の発生についてを一括してご説明願います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>報告第1号青葉中学校の集団腹痛の発生についてご報告申し上げます。</p> <p>発生時の状況ですが、発生日時は平成27年6月19日午前8時30分頃、発生場所は千歳市立青葉中学校であります。</p> <p>前日の午後に体調不良を訴える教員がおり、翌6月19日に欠席した生徒がいたことから、校内において何らかの原因があるのではないかと考え、朝の学活の時間に生徒に確認したところ、1年生から3年生までの9学級の生徒62名と教員1名に腹痛や吐き気などの症状を訴えました。</p> <p>有症者の数は、生徒62名と教員1名であり、症状は、腹痛、吐き気、おう吐等、症状はすべて軽度でありました。</p> <p>対応経過であります。千歳保健所が腹痛等の把握調査を6月23日以降、全校生徒を対象に実施しました。腹痛等の把握調査では、62名を対象とした6月22日の有症者は生徒4名、調査対象を全校生徒に拡大した6月23日は生徒26名でありましたが、6月26日には、8名となり、6月30日は4名となりました。</p> <p>なお、7月1日、2日の生徒の様子を学校に確認したところ、継続して腹痛などを訴えている生徒はいないとの報告がありました。</p> <p>千歳保健所からの報告内容であります。集団腹痛に係る食品関係調査については、食中毒とは言えないとのことであり、その理由として、当該中学校は、学校給食センターからの給食配送を受けており、市内他校にも給食センターで調理した同じ給食が配送されているが、有症者の発生は確認されていないこと、全生徒・教員へのアンケート調査では、6月10日から23日まで、腹痛等の症状を訴える有症者が継続して発生していること、また、学校給食センター施設の衛生管理、調理従事者の健康管理、調理工程等に不備は確認されなかったことがあげられています。</p> <p>感染性胃腸炎の疑いについての千歳保健所からの報告では、感染性胃腸炎としての病原体は特定できなかったが、消化器症状をもつ、何らかの感染症が学校において集団発生していたものと推定されたとのことであり、今回の有症者</p>

は、腹痛、下痢、発熱、おう吐の消化器症状があったこと、発症状況については、6月10日から6月23日の期間に有症者が続発しており、ヒトからヒトへの感染や環境を介した感染の場合に見られる発症状況と合致すること、また、学校給食が原因とは考えられないことがその理由です。

また、教育委員会から提供のあった名簿と、保健所の疫学調査の結果等を勘案し、6月23日以降は初発の有症者が減少傾向にあり、収束に向かっていると推察されるという報告をいただいております。

結論と今後の対策ですが、千歳保健所の調査により感染性胃腸炎としての病原体は特定できなかつたが、消化器症状をもつ何らかの感染症が学校において集団発生していたものと推定されたとの報告がありましたことから、今後の対策としては、従前から感染症予防のための手洗い・うがいの励行などを各学校に通知しているところであるが、千歳保健所の助言を受け、改めて、全小中学校に対し、手洗い・うがいの徹底を図るよう指導することといたしました。

以上が青葉中学校の集団腹痛の発生についての概要であります。

続きまして、報告第2号千歳中学校の集団腹痛の発生についてご報告申し上げます。

発生時の状況についてであります。発生日時は、平成27年6月30日午前9時20分頃、発生場所は千歳市立千歳中学校であります。

概要ですが、1年3組の生徒のうち1名が9時20分頃から腹痛を訴え、昼頃までには14名の生徒が腹痛を訴えたものです。

有症者の数は生徒14名で、症状は腹痛、吐き気、下痢等であり症状はすべて軽度であります。

対応経過ですが、千歳保健所が7月1日に6月30日と7月1日の2日について、1年3組の腹痛、吐き気、下痢等のアンケート調査を実施し、7月1日現在、腹痛等症状がある者は8名であることを確認し、7月2日に1年3組に対し、6月22日から7月2日までの間の腹痛、下痢、おう吐等のアンケート調査を実施しました。

また、学校では、7月2日以降も1年3組の腹痛等の確認を行っており、7月2日の有症者は生徒1名、7月3日は0名、7月6日から8日までは0名、7月9日は1名となりました。

なお、7月13日、14日の生徒の様子を市教委が学校に確認したところ、継続して腹痛などを訴えている生徒はいないとの報告がありました。

千歳保健所からの報告内容ですが、集団腹痛に係る食品関係調査については、本件は、食中毒とは判断されないとのことであり、その理由として、当該中学校は、学校給食センターからの給食配送を受けており、市内他校にも給食センターで調理した同じ給食が配送されているが、有症者の発生は確認されていないこと、複数の有症者が6月30日の調理実習前に発症しており、調理実

	<p>習後に発症した有症者についても通常の食中毒と比べた場合、喫食から発症までの時間が極めて短く、軽症であること、また、調理実習において使用した食品残渣及び有症者の検便から食中毒菌が検出されなかったことがあげられております。</p> <p>また、感染性胃腸炎の疑いについては、感染性胃腸炎としての病原体を特定できなかったが、消化器症状をもつ、何らかの感染症が学校において集団発生していたものと推定されたとのことであり、その理由として、有症者には、腹痛、吐き気、下痢等の消化器症状があったこと、当該学校は保健所へ通報後、速やかに感染防止対策を実施し、有症者の増加はみられないこと、また、学校給食や調理実習が原因とは考えられないことがあげられています。</p> <p>本件の収束については、7月13日に学校で確認した有症者の名簿と、保健所の疫学調査の結果等を勘案し、7月1日以降は初発の有症者が減少傾向にあり、収束に向かっていると推察されるとの報告をいただいております。</p> <p>結論と今後の対策についてであります。7月9日までの千歳保健所の調査により感染性胃腸炎としての病原体は特定できなかったが、消化器症状をもつ何らかの感染症が学校において集団発生していたものと推定されたとの報告を受け、今後の対策としては、7月6日付けで各小中学校に対し、感染症及び食中毒等の予防対策の徹底について通知しているところであり、引き続き、手洗い・うがいの徹底を図るよう指導することといたしました。</p> <p>以上が千歳中学校の集団腹痛の発生についての報告であります。</p>
委員長	<p>本件については、経過のご連絡をいただいておりますが、改めまして、報告第1号及び第2号についてご質問やご意見などございませんか。</p>
佐々木委員	<p>両件とも原因が特定されていないということなので、可能性は否定できませんが、原因が食べ物ではなかったということでしょうか。</p>
阿部委員	<p>いずれも原因は不明ですが、短期間に同じような事例があったということは何らかの原因があったとも考えられます。</p>
教育長	<p>保健所からの報告にある感染性胃腸炎の疑いについても推定ということですので断定されたものではありません。</p> <p>報告第1号及び報告第2号（報告済）</p>
委員長	<p>次に報告第3号平成27年度（第21回）千歳市・指宿市青少年相互交流事業の実施についてご説明願います。</p>

生涯学習課長	<p>報告第3号平成27年度(第21回)千歳市・指宿市青少年相互交流事業についてご報告申し上げます。</p> <p>事業概要ですが、千歳市の姉妹都市であります鹿児島県指宿市との青少年相互交流事業は、平成7年度から開始し今回で21回目となります。市内10校から選出された小学6年生16名が、8月6日から9日までの3泊4日の日程で指宿市を訪問し、南国の文化や生活を体験しながら交流を深めます。なお、12月は指宿市の児童16名を受け入れます。実施主体は、千歳市・指宿市青少年相互交流事業実行委員会であります。事前行事といたしまして、7月28日に事前研修会を開催いたしております。</p> <p>派遣日程の主なものとして、かいもん山麓ふれあい公園での合同宿泊、JR最南端の西大山駅の見学、唐船峡でのそうめん流し、B&G山川海洋センターでのマリンスポーツ体験、ホームステイ宅との交流などを行います。</p> <p>また、8月18日には児童の研究成果発表として事後研修会を開催いたします。なお、10月3日から14日まで市民文化センター4階展示ホールに研究成果を展示することとしております。</p> <p>以上でございます。</p>
委員長	<p>報告第3号についてご質問やご意見などございませんか。</p> <p>報告第3号(報告済)</p>
委員長	<p>次に報告第4号平成26年度指定管理者モニタリング報告について説明をお願いします。</p>
文化施設課長	<p>報告第4号平成26年度指定管理者モニタリング報告について、4施設のモニタリング結果について一括してご説明いたします。</p> <p>まず、青少年会館のモニタリング結果についてであります。千歳市青少年会館の指定管理者は、株式会社クリーン開発で、指定期間は平成29年3月31日まであります。年間利用者数につきましては、平成26年度は11,486人、前年度に比べ187人の増となっております。事業収支についてであります。収入総額3,235,206円に対し、支出総額は3,044,961円、収支差引額は190,245円となっております。管理運営状況の利用者からの評価では、利用団体へのアンケートを実施しており、特に職員対応では、よい以上の評価は90%を超える結果となっております。事業報告書に基づく評価につきましては、協定書や仕様書に定める事項の実施状況は良好であります。自主事業の達成状況であります。青少年会館は市の仕様書に基づくソフト事業はありませんが、指定管理者から提案のあった自主事業といたしまして、環境学習IN青少年会館を</p>

施しており、廃食油を使った蠟燭作りには、小学生やその保護者など 55 名が参加しております。市民サービスの向上を図るための取組であります。平日の開館時間を市条例の午後 1 時からを午前 9 時からに早める取り組みを平成 26 年度も継続するなど利用者サービスの向上に取り組んでおります。評価の総合コメントであります。利用者の利便性や施設の環境整備、利用促進の積極的な取組を実施しており、アンケート結果における利用者への対応は高く評価するものであります。

次に、千歳公民館のモニタリング結果についてご説明いたします。

指定管理者は、公益社団法人千歳市シルバー人材センターで、指定期間は、平成 28 年 3 月 31 日までとなっております。年間利用者数と利用件数につきましては、平成 26 年度は利用者数が 28,973 人、利用件数は 1,893 件となっております。前年度に比べ、利用者数では 1,208 人の増となっております。事業収支についてであります。収入総額 25,496,350 円に対し、支出総額は 24,770,471 円で、収支差引額は 725,879 円となっております。利用者からの評価につきましては、アンケート調査を実施しており、特に設備機能につきましては、よい以上の割合が、60 パーセントを下回る結果となっておりますが、逆に、清潔度につきましては、両調査とも 60 パーセントを超える結果となっており、指定管理者による施設のメンテナンスが評価された結果を表すものと考えております。事業報告書及び現地調査に基づく評価につきましては、協定書や仕様書に定める事項や事業等の実施状況は良好であります。自主事業の達成状況につきましては、市の仕様書に基づく事業では、公民館教室、公民館短期教室、セミナー、講演会を行い、仕様書を一部上回る開催数をそれぞれ実施し、指定管理者から提案のあった事業につきましては、公民館まつり等を実施し、多くの方が参加・来館しております。市民サービスの向上を図るための取組についてであります。市民要望のあった男性向け料理教室の開催や来館者が気持ちよく利用できるよう季節にあった館内装飾を実施しております。評価の総合コメントであります。アンケート調査を分析し、課題の解決に取り組む姿勢は評価するもので、施設の利便性の向上に努め、利用者の拡大を図るとともに、利用者アンケートで寄せられた意見を反映した適切な管理運営を期待するものです。

次に、図書館のモニタリング結果についてご説明いたします。

指定管理者は、株式会社 山三ふじやで、指定期間は平成 27 年 3 月 31 日までとなっております。実施事業及び内容等につきましては、昨年と同様に開館時間の延長や開館日数を増やすなど、市民サービスの向上を図っております。年間利用者数につきましては、貸出冊数は合計で 697,730 冊、貸出人数は合計で 119,934 人、予約冊数は 29,501 冊となっており、前年度に比べ、貸出冊数

で4,368冊、貸出人数で4,055人、それぞれ減少しております。事業収支につきましては、収入総額108,593,886円に対し、支出総額が108,252,503円、収支差引額は341,383円となっております。管理運営状況の利用者からの評価ではありますが、利用者ニーズの把握とサービスの向上のため設置している意見箱には、設備に関するものが22件、図書の蔵書に関するものが17件寄せられております。また、利用者ニーズを把握するためアンケートの実施の結果について、開館時間帯についての設問では、開館時間を早くと閉館時間を遅くを合わせて40パーセントに近い結果となっております。事業報告書及び現地調査に基づく評価についてではありますが、協定書及び仕様書に定める事項や事業等については、適切に行われおり良好であります。自主事業の達成状況につきましては、市の仕様書に基づく事業では、資料の展示、講演会などを開催、指定管理者から提案のあった事業では、読書スタンプラリー等をそれぞれ実施しており、こどもから高齢者までの幅広い年齢層を対象とした読書活動の推進しております。市民サービスの向上を図るための取組みにつきましては、特に学習や閲覧スペースの増設の要望に対し、2階のラウンジに机と椅子を配置し学生等や一般利用者の利便性を図ったところであります。最後に、評価の総合コメントではありますが、利用者数の増加に向けての小学校や保育所、学童クラブ等に対する施設見学や上映会の開催、中学校・高等学校への職場体験の受け入れなどの取組、また、意見箱による利用者ニーズの把握や意見・要望に対する回答を館内に掲示する姿勢を評価するものであり、今後も親しみやすく開かれた図書館として更なるサービスの充実に向けた取組みを期待するものであります。

次に、千歳市民文化センター・千歳市民ギャラリーのモニタリング結果についてご説明いたします。

指定管理者は、セントラルリーシングシステム株式会社で、指定期間は、平成27年3月31日までであります。年間利用者数と利用件数についてではありますが、市民文化センターの年間利用件数は4,353件、年間利用者数は191,905人となっております。前年度に比べ、利用件数で226件、利用者数で16,240人それぞれ増加しており、特に中ホール及び大ホールの利用者数が増加しておりますが、中ホールにつきましては、25年度、音響照明設備更新工事のため3か月間休館しておりましたが、平成26年度は通年の利用可能となったことから、大ホールにつきましては、開館30周年記念事業としてNHKのど自慢を実施したこと、また、ゴスペラーズコンサートを延べ3日間実施したことなどによりそれぞれ利用者数が増加しております。市民ギャラリーにつきましては年間利用件数が620件、年間利用者数は18,356人となっております。前年度に比べ、利用件数及び利用者数とも減少しております。事業収支につきましては、収入総額は、213,103,502円、支出総額は、206,443,748円で、収支差引額は、6,659,754円となっております。管理運営状況の利用者からの評価では、指定

	<p>管理者が利用者に対するアンケートのほかに、自主文化事業の来場者及び参加者を対象にアンケート調査を実施しております。満足度であります。満足が93.5%と高評価となっており、今後見たい事業では、コンサート、映画、演劇が高い割合となっております。市民文化センターの利用者アンケートの結果と市民ギャラリーの利用者アンケートの結果では、特に、市民ギャラリーの設備機能では、よい以上の割合が50パーセント前後となっており、他の設問より低い結果となっております。事業報告書及び現地調査に基づく評価についてであります。協定書や仕様書に基づき実施状況は良好であります。自主事業の達成状況についてであります。市の仕様に基づく事業につきましては、8ジャンル30件の事業、指定管理者から提案のあった事業は5事業をそれぞれ実施しております。市民サービスの向上を図るための取組につきましては、子育て世代が参加できるよう託児付に事業の実施、市民ギャラリーのトイレを温水洗浄付暖房便座に交換、文化センター・市民ギャラリーの一部をLED照明に交換等を行っております。評価の総合コメントであります。市民文化センター30周年記念事業の開催、著名なアーティストから地元の文化団体や高校の文化系クラブまで、様々な芸術文化鑑賞機会や発表の場を設けたこと、各種体験等を通じ、子どもから大人まで、芸術文化に興味を持つための機会を提供しており、市民の芸術文化鑑賞機会の充実が図られていると評価できるものであります。</p> <p>以上が、千歳市民文化センター・市民ギャラリーのモニタリング結果であります。</p> <p>私からの説明は以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>報告第4号についてご質問やご意見などございませんか。</p>
<p>阿部委員</p>	<p>青少年会館で職員に対する接遇研修を実施しているということですが、利用者アンケートにも反映されており、よい取組であると思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>公民館は、建物が古いということがありますが、清掃が行き届いており、清潔感があるという点は高評価であると感じます。</p>
<p>委員長</p>	<p>市立図書館は利用者数が減少ということで、木々に囲まれた良い環境の中にあるという思いの一方で、交通の便が悪いということも影響しているのかと思われます。</p>
<p>阿部委員</p>	<p>自家用車以外の方はどのように来館しているのでしょうか。 バスは一時間に一便位でしょう。</p>
<p>文化施設課長</p>	<p>来館者アンケートの結果では、半数以上が自家用車となっております。</p>

<p>教育部長</p>	<p>図書館の利用実態ではありますが、年間の貸出冊数と貸出人数しか把握しておらず、入館者は把握しておりません。来館したが図書を借りなかった人はカウントされていません。</p>
<p>文化施設課長</p>	<p>年代別の貸し出し状況を見ると、小学生の年代が最も減少が激しく、年間で約 8,000 冊の減少が見られました。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>場所の問題はあると思います。図書館の周辺地域の子ども的人数が減少してきているという影響が大きいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>公共交通機関を利用して来館する方の割合は7%です。 足を運ばなくても貸出や返却ができるようなシステムを構築するということも検討していかなければならないのかもしれないかもしれません。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見等ございませんか。</p>
<p>委員長</p>	<p>報告第4号（報告済）</p> <p>これもちまして本日の会議を終了します。</p>